

令和6年度 授業改善推進プラン（教科 数学科）

作成者 鈴木伶爾

令和5年度の授業改善推進プランの成果と課題

1 年	2 年	3 年
成果 問題を解く時間を多くとることで学習のしやすさにつなげることができた。課題解決型学習を通して各分野の実生活における実用例を知ることができた。 課題 生徒同士の声掛けがもっと増えるように場面を工夫し、生徒間で教え合う雰囲気をつくりたい。	成果 生徒同士の説明の時間を多く設けることで、自信をもって答えたり、発言したりすることが増えた。 課題 授業用のスライドを工夫することで、それぞれのレベルにあった課題を選んで演習を行えるようにする。	成果 授業内で演習の時間を多くとり、またスタディサプリなどの家庭学習も定期的に配信することで学習習慣を身に付けさせることができた。 課題 計算することよりもデータの読み取りに苦手意識をもっている生徒が多いので克服させたい。

学年毎の課題分析	学 年	生徒の実態	学力調査、授業アンケート等を受けての具体的な授業改善策	
			第1回	第2回
	1 年	基礎的な計算の段階から学力に差がある。授業には前向きに取り組んでいる。	肯定的な内容だった。演習の時間をもう少し増やしてほしいという意見があった。生徒によって同じ問題量に対し解くまでの時間に差があるため個々の進め方の分析や、ICTを活用して個別最適化した授業を目指す。	
	2 年	分野ごとに得意不得意が分かれている。学力に差がある。学習した内容から発展的な内容を数学的に考察する力がある。	肯定的な内容だった。毎授業行っているパズルやゲームで基礎力を身に付けさせていく。また自由選択課題では、本人たちが学習状況を鑑み、自身に必要な力を分析して課題を選択できるよう指導していく。	
	3 年	粘り強く学習に取り組む力がある。学習意欲が低い生徒も多い。	肯定的な内容だった。教科書にプラスして実践的、発展的な内容について触れても前向きに理解しようとする姿勢が見られる。ICTを活用し、グループワークを増やして、多面的な考え方や多くの刺激を吸収できるように授業づくりを進めていく。	

令和6年度の授業改善推進プランの成果と課題

1 年	2 年	3 年